

親と子、親同士のきずなを深める P T A 活動

下松市立久保小学校 PTA

1 学校地域の概要

P T A 会長：三宅和彦

学校長：大田典子

児童数：308名

会員数：269名（家庭数239 教職員30）

所在地：〒744-0061

山口県下松市大字河内764-3

T E L （0833）46-0707

F A X （0833）46-3906

URL：<http://kubosyou.server-shared.com/>



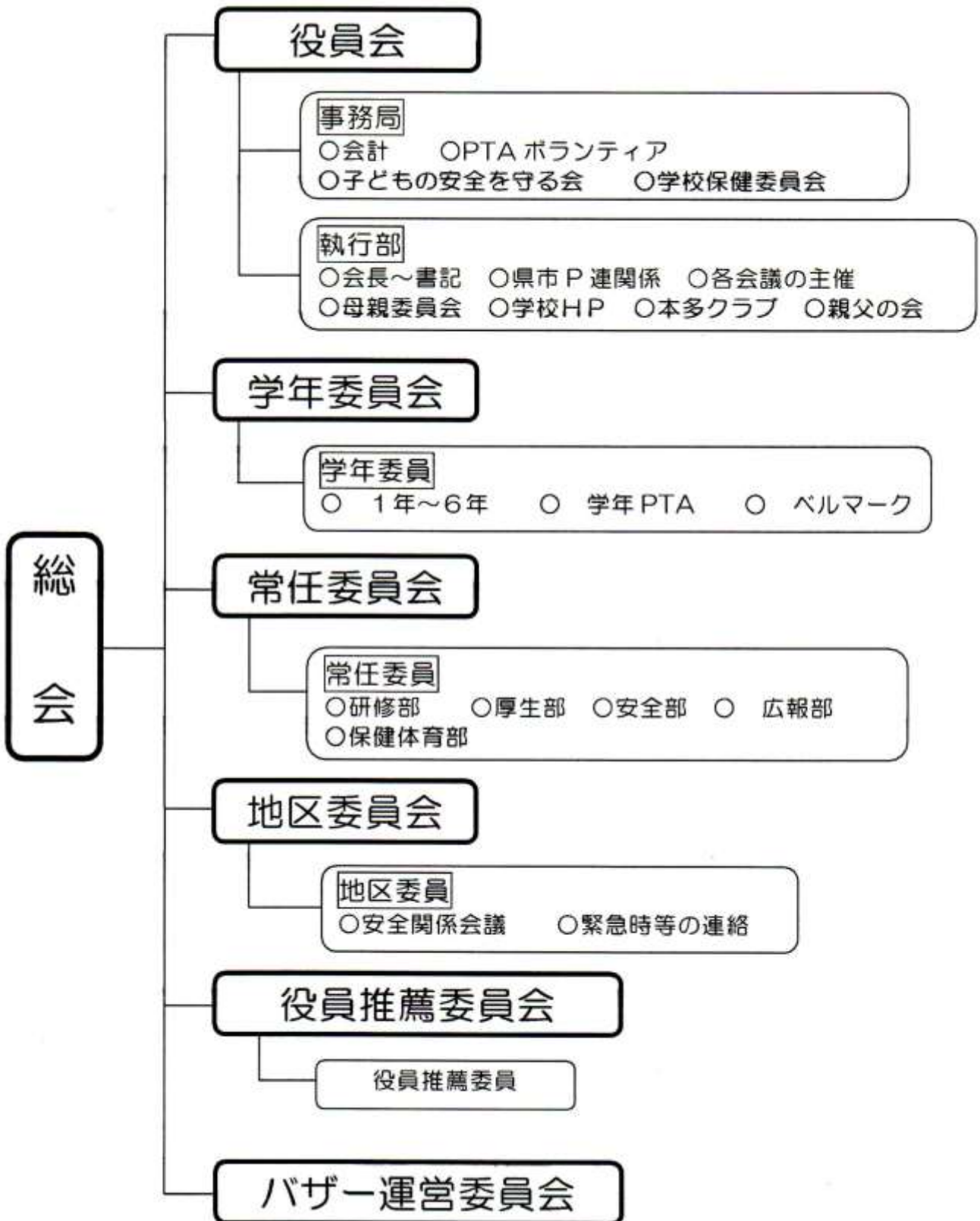
本校は明治17年8月に5小学校を統合して現在の地に東陽小学校として設立され、133年目を迎える伝統校である。

本校区は下松市の東部に位置し、かつては静かな落ち着いた農村地域であったが、近年、道路の整備に伴い、住宅の建設や郊外型大型店舗の進出、工業団地等の造成が進み、交通事情が著しく変化してきている。

保護者は主として周南地域の企業、官庁等に努める人が多く、P T A 活動に積極的で、学校教育にも協力的である。

地域住民はまとまりがよく、本校教育に対し協力的である。地域活動も活発に行われており、児童・保護者とも地域活動によく参加している。





3 研究テーマについて

親と子、親同士のきずなを深めるPTA活動～子どもの健全育成～

子どもたちが現代社会をたくましく行き抜いていくために、親として何ができるか、何をしなければいけないのかと模索したとき、まず考えたのが、子どもたちの日常的な教育者である親同士がつながり、子育てのための知恵を出し合うことである。そして、大人と子どもたちがふれあう機会を設け、子どもたちの生きる力を育むということである。

以上のことから親と子、親同士がつながりを持ち、それを深めることが子どもたちの健全育成につながることを考え、研究テーマを「親と子、親同士のきずなを深めるPTA活動」とし、以下の活動に取り組むこととした。

4 活動内容

(1) 奉仕活動：「砂場」の整備

①内容 夏休み期間中に、子どもたちが授業や休み時間に使用する砂場をお父さんの力を借りて整備した。また共同作業を通して、交流を深める場とした。

②期日 平成29年8月11日（金）

③参加者 12名

④活動の様子

【作業前】



前日に地域の方の協力により、硬くなった砂を耕耘機で掘り返していただきました。

【砂の取り除き】



シャベルと手押し車を使用し、古くなった砂を取り除きました。

【枠の交換】



砂を取り除いた後に、古い枠を取り除き、新しい枠に交換しました。枠のレベルだしにもお父さんの技が発揮されました。

【新しい砂を入れ、完成】



完成した新しい枠の中に、新しい砂を入れました。2学期から授業や休憩時間にふかふかの砂場を利用することが出来ました。

(2) 親子ふれあいキャンプ in 笠戸島

①内容 笠戸島深浦とその周辺にて、仲間とともに、笠戸島の海と山にふれあい、親子で野外体験活動を行いました。また、グループワークを通して、親と子どもたちが助け合って一つのことを成し遂げることで、思いやりとたくましい心を育みました。

②期日 平成29年10月21日(土)

③参加者 子ども26名 大人22名

④スケジュール

- 8 : 3 0 入所式／アイスブレイク（ウエルカムふかしいも）
- 9 : 3 0 魚のカゴあみ体験
魚さばき体験
- 1 1 : 0 0 昼食作り（海鮮バーベキュー、飯ごう炊飯、いも汁）
- 1 2 : 0 0 昼食
- 1 4 : 0 0 芋ほり体験
- 1 6 : 0 0 退所式

⑤活動の様子

【入所式・アイスブレイク】



深浦公民館（旧深浦小学校）に集合して受付を行った後、入所式にてキャンプの意義や内容について説明しました。入所式の後、地元の方が朝早くから作っていただいたウエルカムふかしいもと干天ゼリーを美味しく頂きました。

【魚のカゴあみ体験】





3年生以上の子どもは漁船に乗り込んで、前日から仕掛けたかごあみを引き上げました。かごの中には3匹のたこが入っていました。

【魚さばき体験】



2年生以下の子どもは、ペットボトルのキャップを使って、魚のさばきを体験しました。さばいた小鯛は、お昼の海鮮バーベキューで美味しくいただきました。

【昼食作り・昼食】





参加者全員で昼食作り。お母さんたちは芋汁、たこ飯、てんぷらを作り、お父さんと子どもは、飯ごう炊飯、海鮮バーベキューの準備をしました。

【芋ほり体験】



深浦公民館の畑で栽培されたサツマイモを一人一人掘ることが出来ました。掘った芋は洗った後に、お土産として持って帰りました。

【退所式】



お世話になった深浦公民館長と世話役の方にお礼のあいさつをして、記念撮影。今回のキャンプを通じて、親子のふれあいや保護者同士の交流を図ることができました。

(3) 逃走中（鬼ごっこ）

①内容 テレビで人気の逃走中を、久保小学校のオリジナルルールを作成し、親と子どもが本気で鬼ごっこを楽しむ。また、逃走中のあとは、有志のお父さん、お母さん方で作った豚汁を参加者全員で頂きました。

②期日 平成29年11月19日（日）

③参加者 子ども150名 保護者37名

④活動の様子

【開会式・準備運動】



逃走者（子ども）とハンター（大人）に久保小版逃走中のルールを説明。

【逃走中（鬼ごっこ）】



サッカーのペナルティーキックにより最初に投入されるハンターの数を決定。
ハンター役は、黒い服装と黒いサングラスのお父さんです。



子どもはハンターから必死で逃げます。ハンターに捕まった子どもは収容エリアから逃げる仲間の応援をします。



途中様々なミッションを行い、それをクリアしたら、捕まった子どもを解放します。



ミッションの中には、マスクを被ったハンターが子どもたちから追いかけるものもあり、お父さんたちも元気いっぱい子どもたちから逃げるのが大変です。

【閉会式・豚汁のサービス】



閉会式の後、お父さんとお母さんが作った愛情たっぷりの豚汁を美味しく頂きました。
親子で体も心も温まり、笑顔にあふれる一日になりました。

(4) 親子クリスマスリース作り

①内容 「永遠の幸せ」の思いや願いを込め、世界にひとつだけのクリスマスリースを親子で一緒に制作する。

②期日 平成29年12月17日(日)

③参加者 子ども23名 大人18名

④活動の様子



リースにリボンやビーズを飾りつけ、親子で素敵なクリスマスリースを制作しました。

(5) おいしい・かんたん・おやこ朝ごはんレシピコンテスト

- ①内容 朝食に関するアンケート並びにおやこ朝ごはんのレシピの募集
- ②募集期間 平成29年10月6日
- ③応募数 58件
- ④活動の様子

【朝食に関するアンケートの実施】

「お子さまは、朝主食（パン・ごはん）以外のものを食べていますか？」

- ・毎日食べている・・・27人
- ・ときどき食べている・・・29人
- ・主食以外は食べていない・・・1人
- ・その他・・・・・・・・・・1人

【朝ごはん（食事）にまつわるエピソード】

- ・ある日テレビを見ていた子どもが「お母さん、コーンとかまぼこある？」と叫び、「ごはん作る。」と言って作ってくれたのがこのレシピです。いろいろアレンジして親子で一緒に楽しく作れます。
- ・小さい頃からお肉が苦手でお肉を出すたび口の中にずっと含んだまま飲み込めなかった娘が、今では焼き肉大好き、お肉好きな肉食女子になりました。成長を感じる食事にまつわる思い出です。
- ・夏休みに息子が朝ごはんにオムレツを作ってくれました。家族一人ひとりの好きな具を聞いてくれて中に入れてくれました。

【おやこ朝ごはんのレシピ】



今年度初めて取り組んだ朝ごはんレシピの募集でしたが、各家庭からアイデアあふれるレシピや朝ごはんに関わる数々のエピソードが寄せられ、とても有意義な取組となりました。

応募していただいたレシピの中から、特に素晴らしかった3点を表彰し、他のレシピとあわせて校内や久保公民館に掲示させていただきました。また、PTA新聞（やまなみ）でも紹介しました。

5 成果と課題

子どもの健全育成のため、親同士がつながり、親と子どもが体験の共有化を図ることが必要であると考え、様々な新しい活動に取り組んできた。その活動で得た成果と課題は次のようなことである。

【成果】

- ・親子で参加型の体験活動を通じて、親同士の交流が増え、協力体制やつながりが以前よりも増し、お互いに子育ての知恵を共有することができた。
- ・PTA活動への参加者が固定化しがちだったが、新しい活動を行うことにより、参加者を増やすことができ、本校のPTA活動に理解と協力を得ることができた。

【課題】

- ・今後、本校の児童数は大きく減少することが予測される。これからは保護者をはじめ、地域の方やOBの方々にも声をかけ、学校に対する支援の輪が広がるような工夫が必要と考える。
- ・学校や保護者の声も聞きながら、本活動を参考にしたPTA活動を積極的に企画・展開し、学校と保護者、保護者同士のつながりをより深めていくことが大切である。